

平成 26 年度 千葉県認知症専門職研修体系構築事業

認知症介護専門職研修開催のご案内

1. 事業内容

急速な高齢化や認知症高齢者の増加に伴い、認知症の方への対応やケアを行う人材を育成していくことが重要になってきています。本研修は、千葉県から委託を受けて研修プログラム案を作成し、それに基づき研修を実施していきます。

2. 実施概要

(1) 研修実施の目的

認知症の方のケアにかかわる医療・福祉等の介護職員に対して、専門職として必要な知識・技術等の力量の向上を図るためのプログラムを計画し、介護職員の人材育成を支援する

(2) 受講要件

初 級 : 経験年数 1～3 年目の介護職員

中 堅 : 経験年数 5～7 年目の介護職員

指導者 : 経験年数 8 年目以上の主任又は管理職に従事している職員

※全日程、出席できる方

(3) 予定定員

初 級 : 50 名

中 堅 : 30 名

指導者 : 20 名

※定員になり次第締め切らせていただきます

(4) 受講料

初 級 : 2,000 円

中 堅 : 6,000 円

指導者 : 10,000 円

(1,000 円/日)

※受講料は研修初日に全額いただき領収書を発行致します

(5) 研修の日程

初 級 : 2 日間 8/10 (日)、 9/27 (土)

中 堅 : 6 日間 8/9 (土)・10 (日)、 9/27 (土)・28 (日)、 10/18 (土)・19 (日)

指導者 : 10 日間 8/8 (金)～10 (日)、 9/27 (土)・28 (日)、 10/18 (土)・19 (日)、
11/8 (土)・9 (日)、 11/18 (日)

(6) 研修の時間

9 : 30～16 : 30

(7) 研修会場・お問い合わせ

袖ヶ浦さつき台病院

〒299-0246 千葉県袖ヶ浦市長浦駅前 4-2-1

TEL ⁰⁴³⁸~~0436~~-62-1113 FAX 0438-64-2190

担当 : 竹内美佐子 又は 総務課

社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院行

Fax 0438-64-2190

研修申込み書

申し込み期限 7月12日

* 期限を過ぎた場合は下記に直接お問い合わせ下さい。

事業所名 _____ 事業所所在地 _____
担当者 _____
連絡先電話番号 _____ 連絡先 Fax 番号 _____

参加者

| コース | 役職名 | 氏名 |
|-----|-----|----|
| 初級 | | |
| 初級 | | |
| 初級 | | |
| 初級 | | |
| 中級 | | |
| 中級 | | |
| 中級 | | |
| 指導者 | | |
| 指導者 | | |

ご不明な点は下記にお問い合わせください。

袖ヶ浦さつき台病院 0438-62-1113 竹内美佐子 または 総務課

認知症介護専門職研修(初級)

現在、急速な高齢化や認知症高齢者の増大に伴い、医療・福祉や地域との連携が求められるようになり、ケアの質の向上や人材育成が重要になっています。認知症の方への対応方法・介護職の専門性である自立支援の方法など、日々悩まれている 1～3年目の職員の方が多くはないでしょうか。

今回の研修では、認知症介護に従事されている1～3年目の職員を対象に、「キャリア形成」「多職種連携」「認知症ケア」を学び社会人としての基本を身につけ、介護職になった動機や現在の思いを演習により明確にし、自分なりの目標ややりがいを見つけてより良い認知症の方へのケアや連携ができるよう基礎を学びたいと思います。

対象者 経験年数1～3年目の介護職員
定員 50名 先着順
参加日 2,000円 (1,000円/日)
申込 裏面のFAX用紙にてお申込み下さい
締切 平成26年7月12日(土) ※定員になり次第締め切らせて頂きます
持ち物 筆記用具
講師 竹内正人(袖ヶ浦さつき台病院 総合広域リハケアセンターセンター長)
細井尚人(袖ヶ浦さつき台病院認知症疾患センターセンター長)
竹内美佐子(袖ヶ浦さつき台病院 看護部長)
井上映子 氏(城西国際大学 老年看護教授) 他
内容 講義及びグループワーク

| 日程 | | 時間 | 内容 | 場所 |
|-----|---------------|------------|---|--------------------|
| 1日目 | 平成26年8月10日(日) | 9:30～16:30 | 【キャリア形成】社会人としての自立 【多職種連携】多職種連携の理解 【認知症ケア】介護過程の理解 | 袖ヶ浦さつき台病院 本棟 5階 |
| 2日目 | 平成26年9月27日(土) | 9:30～16:30 | 【認知症ケア】認知症の人の理解 認知症ケアの基本 認知症の人を取り巻く諸制度 事例検討の基礎 | |

【お問い合わせ・お申込み】

袖ヶ浦さつき台病院

〒299-0246

千葉県袖ヶ浦市長浦駅前4-2-1 【内房線 長浦駅 徒歩15分 ※公共交通機関をご利用ください】

TEL 0438-62-1113 FAX 0438-64-2190

担当：竹内美佐子 又は 総務課

認知症専門職研修プログラム(初級者)

1. 対象 1年～3年未満の職員
2. ねらい 認知症の知識の獲得と介護職者の役割を理解し、チームに貢献する
3. 到達目標 認知症の人と関わる自己を客観視でき、自分の役割を理解する
4. 評価方法 各科目に対する受講生の自己評価と教育プログラムの評価

5. プログラム(総括表)

| 課目 | 内容 | 形式 | 時間配分 |
|--|--|--|----------|
| 認知症ケア (対象に合わせたケアの理解) | 認知症の人の理解 現場で役立つ医学的知識(基礎編) 中核症状・周辺症状の理解 認知症の人の理解の仕方 | 講義 | 1H |
| | 認知症ケアの基本 基本的なケア 認知症の人の心理 認知症の人を抱える家族の心理 認知症の人を取り囲む環境 | 講義 | 2H |
| | 介護過程の理解(講義1時間、演習1時間) ICFと自立支援の考え方 介護過程の考え方 | 講義 演習 | 1H 1H |
| | 認知症の人を取り巻く諸制度(講義1時間) 関係する法律と社会制度 人権と倫理 | 講義 | 1H |
| | 事例検討の基礎(講義と演習1時間) 記録・報告・カンファレンスの重要性 カンファレンスで事例検討 | 講義 演習 | 1H 1H |
| | キャリア形成 | 社会人基礎力 コミュニケーション技術 メンバーシップとリーダーシップ 介護への思いと目標設定 ストレスマネジメント 施設間交流による各種施設の理解 | 講義 演習 |
| 多職種連携 各職種の専門性 専門職連携・協働の考え方 介護の専門性 カンファレンスの方法 | | 講義 演習 | 1H 1H |

計 12時間(1日6時間×2日間)

認知症ケア(対象に合わせたケアの理解) 初級者

| 【課題】 認知症の人の理解 | | | | |
|---|---|--|----|------|
| 【ねらい】 認知症の進行と加齢変化を理解し、認知症の人の全体像がわかる | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 現場で役立つ医学的知識(基礎編) | 初期から終末期まで、認知症の進行と加齢変化を理解し、様々な状態を呈する認知症の人の全体像がわかる | アルツハイマー病、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症などの特徴の理解と進行・加齢変化を理解する | 講義 | 1H |
| 中核症状・周辺症状の理解 | | 中核症状や周辺症状それぞれの特徴と要因を理解する | | |
| 認知症の人の理解の仕方 | | 認知症を持つ人としての全体像が分る | | |
| 【課題】 認知症ケアの基本 | | | | |
| 【ねらい】 認知症の人の人生がよりよく、より豊かになるように、本人とその関係者の心理と環境調整の基礎を学ぶ | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 基本的なケア | 認知症の人が、最後までよりよい生活とより豊かな人生を送ることができるよう、本人とその関係者の心理と環境調整の基礎を学ぶ | 「食事」「水分」「排泄」「活動」などの基本的なケアを理解する | 講義 | 2H |
| 認知症の人の心理 | | 認知症の人の不安・葛藤などの心理を理解する | | |
| 認知症の人を抱える家族の心理 | | 認知症の人に一番大きな影響を持つ家族の心理を理解する | | |
| 認知症の人を取り囲む環境 | | 認知症の人を取り囲む人や物などの環境の重要性を理解する | | |
| 【課題】 介護過程の理解 | | | | |
| 【ねらい】 ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health)の概念と認知症の人の自立支援と介護過程の考え方を理解する | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| ICFと自立支援の考え方 | ICFの概念と、介護の専門性である自立支援の考え方を理解する。介護過程展開の基礎を学ぶ | 専門性の高い介護をするために、ICFの概念と自立支援の考え方を理解する | 講義 | 1H |
| 介護過程の考え方 | | ICFの概念を基にした介護課程の展開を演習を通して理解する | | |
| 【課題】 認知症の人を取り巻く諸制度 | | | | |
| 【ねらい】 認知症の人の尊厳を守る為の法律と倫理を理解する | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 関係する法律と社会制度 | 認知症の人の尊厳を守る為の法律と社会制度、および倫理の考え方を理解する | 認知症の人の尊厳が守られる為、様々な法律と社会制度があることを理解する | 講義 | 1H |
| 人権と倫理 | | 日々の介護上、守るべき人権と倫理についての考え方を理解する | | |
| 【課題】 事例検討の基礎 | | | | |
| 【ねらい】 認知症の人のケアを展開するために、事例検討の基礎を理解する | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 記録・報告・カンファレンスの重要性 | 認知症の人のケアを展開するために、記録、報告、カンファレンスの重要性を理解し、カンファレンスの方法を学ぶ | 認知症の人を理解し、質の良いケアを提供するために、記録・報告・カンファレンスの重要性を理解する | 講義 | 1H |
| カンファレンスで事例検討 | | 認知症の人に質の良いケアを提供するために、カンファレンスの重要性を理解する | 演習 | 1H |

キャリア形成

| 【課題】 社会人としての自立 | | | | |
|--------------------------------|---|---|----|------|
| 【ねらい】 介護職に求められる社会人としての基本を身につける | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 社会人基礎力 | やりがいをもって介護職者として働き続けるために、介護職になった動機、現在の思い、やりがいを確認し、介護職に求められる社会人としての基本を身につける | 社会人として自立し、信頼を得るために必要な社会人基礎力を理解する | 講義 | 2H |
| コミュニケーション技術 | | ケア対象者や家族、上司や同僚と良好なコミュニケーションを取るための知識・技術を理解する | | |
| メンバーシップとリーダーシップ | | メンバーもリーダーもそれぞれに役割があり、役割の遂行の仕方を演習を通して理解する | | |
| 介護への思いと目標設定 | | 介護職になった動機や現在の思いを明確にし、自分なりの目標を見出せる | 演習 | 1H |
| ストレスマネジメント | | 感情のコントロールやストレス対処の方法を実践的に理解する | | |
| 施設間交流による各種施設の理解 | 様々な施設から受講している職員同士が交流することで、それぞれの施設の特徴や役割を理解する | | | |

多職種連携

| 【課題】 多職種連携の理解 | | | | |
|---|---|------------------------------|----|------|
| 【ねらい】 介護職の専門性と各職種の専門性を理解し、他職種連携の在り方の基礎を学ぶ | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 各職種の専門性の理解 | 介護の専門性を言語化し、他職種の役割を理解した上で、協働の場となるカンファレンスの演習をとおして多職種連携できる基礎を学ぶ | 多職種の役割や専門性を理解する | 講義 | 1H |
| 専門職連携・協働の考え方 | | それぞれの専門性を活かした連携・協働の考え方を理解する | | |
| 介護の専門性 | | 演習を通して介護の専門性を言語化する | 演習 | 1H |
| カンファレンスの方法 | | カンファレンスの演習を通して、多職種連携の仕方を理解する | | |

認知症介護専門職研修(中級)

現在、急速な高齢化や認知症高齢者の増大に伴い、医療・福祉や地域との連携が求められるようになり、ケアの質の向上や人材育成が重要になっています。仕事上で任される立場への変化から自分のケアはこれで良いのだろうかと悩んでいる中堅職員の方が多いのではないのでしょうか。

今回の研修では、認知症介護に従事されている中堅職員を対象に、「キャリア形成」「多職種連携」「認知症ケア」を学び自己と他者を知り仕事を楽しめる考え方や、それを活かして働きやすい環境作り、認知症の医学的知識やその人の有する能力の見方を学び、より良いケアや連携する方法を学べたらと思います。

対象者 経験年数5～7年目の中堅介護職員
 定員 30名 先着順
 参加日 6,000円 (1,000円/日)
 申込 裏面のFAX用紙にてお申込み下さい
 締切 平成26年7月12日(土) ※定員になり次第締め切らせて頂きます

講師 竹内正人(袖ヶ浦さつき台病院 総合広域リハケアセンターセンター長)
 細井尚人(袖ヶ浦さつき台病院認知症疾患センターセンター長)
 竹内美佐子(袖ヶ浦さつき台病院 看護部長)
 井上映子 氏(城西国際大学 老年看護教授) 他
 内容 講義及びグループワーク

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|-----------------------|------------|---|-----------------------|
| 1日目 平成26年8月9日(土) | 9:30～16:30 | 【キャリア形成】 仕事を楽しむ 【多職種連携】 多職種連携の実際 | 袖ヶ浦さつき台病院 管理棟2階会議室 |
| 2日目 平成26年8月10日(日) | 9:30～16:30 | 【キャリア形成】 社会人としての自立 【多職種連携】 多職種連携の理解 【認知症ケア】 介護過程の理解 | 袖ヶ浦さつき台病院 本棟 5階 |
| 3日目 平成26年9月27日(土) | 9:30～16:30 | 【認知症ケア】 認知症の人の理解 認知症ケアの基本 認知症の人を取り巻く諸制度 事例検討の基礎 | |
| 4日目 平成26年9月28日(日) | 9:30～16:30 | 【認知症ケア】 認知症の人の理解 認知症ケアの実際 | |
| 5日目 平成26年10月18日(土) | 9:30～16:30 | 【認知症ケア】 介護倫理 他施設の見学会 | |
| 6日目 平成26年10月19日(土) | 9:30～16:30 | 【認知症ケア】 介護過程の方法 【認知症ケア】 事例検討の準備 | |

【お問い合わせ・お申込み】

袖ヶ浦さつき台病院

〒299-0246

千葉県袖ヶ浦市長浦駅前4-2-1 【内房線 長浦駅 徒歩15分 ※公共交通機関をご利用ください】

TEL 0438-62-1113 FAX 0438-63-6213

担当：竹内美佐子 又は 総務課

認知症専門職研修プログラム(中堅者)

1. 対象 3年以上8年未満の職員
2. ねらい チームとして認知症ケアの成果を出し、組織に貢献する
3. 到達目標 認知症ケアの成果をチームで共有することによって自信をつけ、仕事楽しくなる
4. 評価方法 各科目に対する受講生の自己評価と教育プログラムの評価

5. プログラム(総括表)

| 課目 | 内容 | 形式 | 時間配分 | |
|----------------|-----------------------|-------------------------------|---------|-------------------|
| (対象に合わせたケアの理解) | 認知症の人の理解 | 現場で役立つ医学的知識(実践編) | 講義 | 1H |
| | | 中核症状・周辺症状の対応 | | |
| | | その人の有する能力を見つける | | |
| | 認知症ケアの実際 | 基本的なケアの実践とコミュニケーション法(バリデーション) | 講義 | 2H |
| | | 認知症の人の個別援助技術とアクティビティケア | | |
| | | 認知症の人へのリスクマネジメント | | |
| | | 家族会への参加による介護家族の理解 | 家族会参加半日 | |
| | 介護過程の方法 | ICFに基づいたアセスメント | 講義 | 1H |
| | | ケア計画の立案・実践・評価 | 演習 | 2H |
| | 介護倫理 | 暴力防止対策 | 講義 | 1H |
| | | 倫理的葛藤の語り合い | 演習 | 1H |
| | 事例検討の準備 | ICFを取り入れた事例のまとめ方 | 講義 | 1H |
| 事例検討の進め方 | | 演習 | 1H | |
| キャリア形成 | 仕事を楽しむ | 自己理解と他者理解 | 講義 | 2H |
| | | リーダーシップとマネジメント | | |
| | | やる気を育てる方法(ティーチングとコーチング) | | |
| | 他施設の見学会 | 成果を感じ取る視点(リフレーミング) | 演習 | 2H |
| | | 仕事の楽しさを知る | | |
| | | 他施設の見学会 | | |
| 多職種連携 | チーム編成の方法 | 講義 | 1H | |
| | | | | 他職種の考えの理解と信念対立の回避 |
| | 多職種連携の実際(講義1時間、演習1時間) | 演習 | 1H | |
| | | | | カンファレンスの進め方(対話) |
| 社会資源の種類と活用 | | | | |

16時間 見学半日2回(1日6時間×4日間+初級者2日間=合計6日間)

認知症ケア(対象に合わせたケアの理解)

中堅者

| 【課題】 認知症の人の理解 | | | | |
|--|--|--|----|------|
| 【ねらい】 介護現場で活用できる医学的知識を獲得し、その人の有する能力を見つけ出す | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 現場で役立つ医学的知識(実践編) 中核症状・周辺症状の対応 その人の有する能力を見つける | 介護現場で活用するための医学的知識とその人の有する能力の見極め方を学び、自立支援で活用する方法を学ぶ | 身体合併症、老年症候群など、認知症の人をケアする上で必要な医学的知識を学ぶ 中核症状・周辺症状に対する薬剤や非薬物治療などさまざまな対応方法を学ぶ 障害にとらわれず、その人の有する能力の見方を学ぶ | 講義 | 1H |

| 【課題】 認知症ケアの実践 | | | | |
|---|--|---|-------|------|
| 【ねらい】 認知症の人と家族のケアの実践と認知症の人のリスクマネジメント方法を学ぶ | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 基本的なケアの実践とコミュニケーション法(バリデーション) | 適切なアセスメントを行い、その人に合った方法で基本的なケアを実践する方法を学ぶ。 | 基本的なケアとその実践法やコミュニケーション法(バリデーション)を理解し、実践する方法を学ぶ。 | 講義 | 2H |
| 認知症の人の個別援助技術とアクティビティケア | | 個別援助技術とアクティビティケアの方法を学ぶ | | |
| 認知症の人へのリスクマネジメント | | 認知症の人の尊厳と安全の両立を図る方法を学ぶ | | |
| 家族会への参加による介護家族の理解 | | 家族会に参加し、状況や気持ちを理解すると共に、それぞれの家族の対応方法や支え合いの重要性を理解する | 家族会参加 | 半日 |

| 【課題】 介護過程の方法 | | | | |
|--|--|--|----|------|
| 【ねらい】 効果的なケアを提供するために、ICFに基づいたアセスメント、ケア計画、実践、評価の方法を学ぶ | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| ICFに基づいたアセスメント | 過去・現在・未来をICFで想定し、裏付けのあるアセスメントが行え、効果的なケアを提供するために、計画、実践、評価を繰り返す方法を学ぶ | 時間経過で俯瞰したICFに基づいたアセスメントの仕方を理解し、ケアへの活かし方を学ぶ | 講義 | 1H |
| ケア計画の立案・実践・評価 | | ケア計画の立案・実践・評価のサイクルを演習を通して理解する | 演習 | 2H |

| 【課題】 介護倫理 | | | | |
|--|----------------------------|--|----|------|
| 【ねらい】 介護現場で感じる倫理的葛藤を語り合うことによって、介護観を深める。興奮した場面が暴力につながらない対応方法を学ぶ | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 暴力防止対策 | 興奮した場面が暴力につながらないような対応方法を学ぶ | 興奮した場面では対応により暴力に発展することを理解し、ケアで穏やかになるような対応方法を学ぶ | 講義 | 1H |
| 倫理的葛藤の語り合い | 介護倫理や介護観を言葉で語る事が出来る | 現場の場面の中で感じる倫理的葛藤を自分の言葉で語り合うことで、介護観を深める | 演習 | 1H |

| 【課題】 事例検討の準備 | | | | |
|--|-----------------------------|------------------------------|----|------|
| 【ねらい】 認知症ケアの実践事例をまとめ検討することで、介護の専門性を高める | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| ICFを取り入れた事例のまとめ方 | 事例をまとめ、検討することで、介護の専門性の質を高める | 時間経過で俯瞰したICFに基づいた事例のまとめ方を学ぶ | 講義 | 1H |
| 事例検討の進め方 | | まとめた事例を検討することによって、介護の専門性を高める | 演習 | 1H |

キャリア形成

| 【課題】 仕事を楽しむ | | | | |
|---|--|--|-----|------|
| 【ねらい】 自己と他者を客観的に見つめ、仕事を楽しむ方法を身につけて、働きやすい環境づくりに貢献する方法を学ぶ | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| 自己理解と他者理解 | 自分自身と他者を客観的に見つめ、仕事を楽しくする考え方を身につけ、働きやすい環境を自ら作る方法を学ぶ | 自分を知り、他者を知る方法を学ぶ | 講義 | 2H |
| リーダーシップとマネジメント | | リーダーシップとマネジメントに関する知識・技術を学び、自分自身の役割を理解する | | |
| やる気を育てる方法(ティーチングとコーチング) | | ティーチングとコーチングの違いを理解し、対象者のやる気が出る育成方法を学ぶ | 演習 | 2H |
| 成果を感じ取る視点(リフレーミング) | | 育成対象者の成長を感じ取る視点を学び、褒めたり適切に評価したりすることで、更なる成長を促す方法を学ぶ | | |
| 仕事の楽しさを知る | | やりがいのある仕事とやる気のある仲間の中で仕事を楽しむ方法を理解する | | |
| 他施設の見学会 | | 他施設を見学することで、自施設の良さと課題に気づく | 見学会 | 半日 |

多職種連携

| 【課題】 多職種連携の実践 | | | | |
|---|--|--|----|------|
| 【ねらい】 各職種の価値観や専門性の違いを理解し、社会資源を活用したチームケアの方法を学ぶ | | | | |
| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
| チーム編成の方法 | 多職種と共に働く上で、価値観や専門性による考え方の違いを乗り越え、集団やチームで働く時の相乗効果を生み出す方法を学ぶ | 集団とチームの違いを理解し、チームの作り方を学ぶ | 講義 | 1H |
| 他職種の考えの理解と信念対立の回避 | | 職種による価値観の違いが信念対立につながることを理解し、その乗り越え方を理解する | | |
| カンファレンスの進め方(対話) | | 様々な価値観や知識・技術を持つメンバーが対話を通して、相乗効果が生み出されるカンファレンスを体験する | 演習 | 1H |
| 社会資源の種類と活用の実践 | 様々な社会資源をどのように活用することが、その人らしさにつながるのかを理解する | 社会資源の種類と特徴を理解し、その人らしさにつながる活用の方法を学ぶ | | |

認知症介護専門職研修(指導者)

現在、急速な高齢化や認知症高齢者の増大に伴い、医療・福祉や地域との連携が求められるようになり、ケアの質の向上や人材育成が重要になっていますが、職員への指導方法に悩んでおられる指導者も多いのではないのでしょうか。

今回の研修では、認知症介護に従事されている指導者を対象に、「キャリア形成」「多職種連携」「認知症ケア」を学び仕事を楽しむ考え方、やりがいを感じながら成長する介護職を育成する方法、教えることを通して自ら学び教えた相手が成長することで仕事を楽しむ仲間作り、認知症の人の理解を深めより良いケアや連携の方法を学べたらと思います。

対象者 経験年数8年目以上の主任又は管理職に従事している指導者
 定員 20名 先着順
 参加費 10,000円(1,000円/日)
 申込 裏面のFAX用紙にてお申込み下さい
 締切 平成26年7月12日(土) ※定員になり次第締め切らせて頂きます
 講師 竹内正人(袖ヶ浦さつき台病院 総合広域リハケアセンターセンター長)
 細井尚人(袖ヶ浦さつき台病院 認知症疾患センターセンター長)
 竹内美佐子(袖ヶ浦さつき台病院 看護部長)
 井上映子 氏(城西国際大学 老年看護教授) 他
 内容 講義及びグループワーク

| 日程 | 時間 | 内容 | 場所 |
|---------------------|------------|---|-----------------------|
| 1日目 平成26年8月8日(金) | 9:30~16:30 | 【キャリア形成】楽しく仕事をする仲間を増やす | 袖ヶ浦さつき台病院 管理棟2階会議室 |
| 2日目 平成26年8月9日(土) | 9:30~16:30 | 【キャリア形成】仕事を楽しむ 【多職種連携】多職種連携の実際 | |
| 3日目 平成26年8月10日(日) | 9:30~16:30 | 【キャリア形成】社会人としての自立 【多職種連携】多職種連携の理解 【認知症ケア】介護過程の理解 | 袖ヶ浦さつき台病院 本棟 5階 |
| 4日目 平成26年9月27日(土) | 9:30~16:30 | 【認知症ケア】認知症の人の理解 認知症ケアの基本 認知症の人を取り巻く諸制度 事例検討の基礎 | |
| 5日目 平成26年9月28日(日) | 9:30~16:30 | 【認知症ケア】認知症の人の理解 認知症ケアの実際 | |
| 6日目 平成26年10月18日(土) | 9:30~16:30 | 【認知症ケア】介護倫理 他施設の見学会 | |
| 7日目 平成26年10月19日(土) | 9:30~16:30 | 【認知症ケア】介護過程の方法 【認知症ケア】事例検討の準備 | |
| 8日目 平成26年11月8日(土) | 9:30~16:30 | 【認知症ケア】認知症の人の各ステージの理解 認知症の人を取り巻く諸制度 事例検討の実際 | 袖ヶ浦さつき台病院 管理棟2階会議室 |
| 9日目 平成26年11月9日(日) | 9:30~16:30 | 【認知症ケア】認知症ケアの応用 【認知症ケア】介護過程の展開 | 袖ヶ浦さつき台病院 本棟 5階 |
| 10日目 平成26年11月16日(日) | 9:30~16:30 | 【多職種連携】地域連携の在り方の理解 【認知症ケア】事例検討の実際 | |

【お問い合わせ・お申込み】

袖ヶ浦さつき台病院

〒299-0246

千葉県袖ヶ浦市長浦駅前4-2-1 【内房線 長浦駅 徒歩15分 ※公共交通機関をご利用ください】

TEL 0438-62-1113 FAX 0438-64-2190

担当：竹内美佐子 又は 総務課

認知症専門職研修プログラム(指導者)

1. 対象 主任レベル～管理職
2. ねらい 認知症ケアをとおして人材#育成ができ、良好な組織風土を創る(#=人は財産と考える)
3. 到達目標 人材育成のための組織作りを理解し、楽しく仕事をする仲間を増やす
4. 評価方法 各科目に対する受講生の自己評価と教育プログラムの評価

5. プログラム(総括表)

| 課目 | 内容 | 形式 | 時間配分 | |
|-------------------|--|--------------------|----------|----------|
| (対象に合わせたケアの理解) | 認知症の人の各ステージの理解(講義2時間) | 認知症の人の各ステージの理解 | 講義 | 1H |
| | | 認知症の人の終末期ケア | | |
| | | 認知症の人の予防ケア | | |
| | 認知症ケアの応用(講義2時間) | 認知症の人の関係性へのアプローチ方法 | 講義 | 2H |
| | | 家族の関係性へのアプローチ方法 | | |
| | | 関係職種との協働ケア | | |
| | | 環境の違いによるケアの違いと応用 | | |
| | 介護過程の展開(講義1時間、演習2時間) | 自施設の事例の振り返りと課題の明確化 | 講義 | 1H |
| | | 自施設の事例を用いた介護過程の展開 | 演習 | 2H |
| | 尊厳と権利擁護(講義1時間) | 認知症の人の社会的な問題 | 講義 | 1H |
| | | 高齢者虐待防止 | | |
| | 事例検討の実践(講義1時間、演習2時間) 発表会1日 | ファシリテーションの実践 | 講義 演習 | 1H 2H |
| 事例検討とプレゼンテーションの実践 | | 発表 | 1日 | |
| キャリア形成 | 楽しく仕事をする仲間を増やす(講義1時間、演習2時間) (他施設間交流2時間) | 教える楽しさを伝える | 講義 | 2H |
| | | 良好な組織風土の作り方 | | |
| | | ビジョンの作り方 | | |
| | | 新人研修プログラムの作り方 | | |
| | プレゼンテーションの仕方 | 演習 | 2H | |
| | 多施設間交流 | 他施設間交流2時間 | | |
| 多職種連携 | 地域連携の在り方の理解(講義1時間、演習1時間) | 各施設の役割 | 講義 | 1H |
| | | 地域連携の仕方 | | |
| | | 地域連携の実際 | 演習 | 1H |
| | | 医療と福祉の連携 | | |

18時間 (1日6時間×3日間) 発表会1日+初級者2日間+中堅者4日間=合計10日間

認知症ケア(対象に合わせたケアの理解)

指導者

【課目】 認知症の人の各ステージの理解

【ねらい】 物忘れから終末期までの認知症の各ステージを理解し、その変化を予測したケアを考える

| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
|----------------|---|--------------------------------------|----|------|
| 認知症の人の各ステージの理解 | 物忘れから終末期までの各ステージを理解し、各ステージにおける変化を予測したケアが展開できることを目指す | 認知症の人の各ステージの変化と特徴を理解し、全体が俯瞰できる | 講義 | 1H |
| 認知症の人の終末期ケア | | 認知症の人の終末期を理解し、その人らしい最後が迎えられるように支援できる | | |
| 認知症の人の予防ケア | | 認知症のステージ変化を予測した予防方法を学ぶ | | |

【課目】 認知症ケアの応用

【ねらい】 認知症の人を取り巻く環境全体へのアプローチ方法を学ぶ

| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
|--------------------|--|---|----|------|
| 認知症の人の関係性へのアプローチ方法 | 認知症の人を取り巻く人々へのアプローチ方法と関係職種との連携・協働によるケアの方法、療養環境の違いによるケアの違いを理解し、環境全体へのアプローチ方法を学ぶ | 認知症の人とその人を取り巻く人々との関係性を読み解き、その影響とアプローチ方法を理解する | 講義 | 2H |
| 家族の関係性へのアプローチ方法 | | 認知症の人と家族の関係性を理解し、関係性改善へのアプローチ方法を学ぶ | | |
| 関係職種との協働ケア | | 他職種とチームを組み、協働でケアする方法を学ぶ | | |
| 環境の違いによるケアの違いと応用 | | 病院や施設、在宅など療養環境の違いによるケアの違いを理解し、それぞれの良い点を取り入れ、応用する視点を学ぶ | | |

【課目】 介護過程の展開

【ねらい】 実際の事例を用いて介護過程を展開する

| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
|--------------------|--|-------------------------------|----|------|
| 自施設の事例の振り返りと課題の明確化 | 介護過程の展開によって実際の現場で関わった事例を振り返り、今後の自己のケア実践に活用する | 自施設の事例を丁寧に振り返りを行うことで課題を明らかにする | 講義 | 1H |
| 自施設の事例を用いた介護過程の展開 | | 自施設の事例をICFに基づいて介護過程展開を行う | 演習 | 2H |

【課目】

【ねらい】 広く社会的な問題に目を向け、認知症の人が暮らしやすい社会について考える

| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
|--------------|---|--|----|------|
| 認知症の人の社会的な問題 | 高齢者虐待など、認知症の人の社会的な問題に目を向け、認知症の人が暮らしやすい社会について考える | 認知症の人を巡る社会的な問題を通して、社会環境について理解する | 講義 | 1H |
| 高齢者虐待防止 | | 高齢者虐待防止法の成り立ちや法律の内容を理解し、高齢者の虐待防止に協力できる | | |

【課目】 事例検討の実践

【ねらい】 認知症ケアの事例検討をとおして、関係者でケアを共有する方法を身につける

| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
|-------------------|---------------------------|-----------------------------|----------|----------|
| ファシリテーションの実践 | 事例を深め、関係者で共有するための方法を身につける | 事例検討や会議で行われるファシリテーションの技術を学ぶ | 講義 演習 | 1H 2H |
| 事例検討とプレゼンテーションの実践 | | 発表を通して、事例検討とプレゼンテーションの技術を磨く | 発表 | 1日 |

キャリア形成

【課目】 楽しく仕事をする仲間を増やす

【ねらい】 仕事にやりがいを感じながら成長する介護職者を育成する方法を学ぶ

| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
|--------------|---|--|-----------|------|
| 教える楽しさを伝える | 楽しく仕事をする仲間を増やすために、仕事を楽しむ考え方を伝え、やりがいを感じながら成長する介護職者を育成する方法を学ぶ | 教えることを通して自ら学び、教えた相手が成長することで仕事を楽しむ仲間が作れることを学ぶ | 講義 | 2H |
| 良好な組織風土の作り方 | | どうすれば良好な組織風土が作れるのかを学ぶ | | |
| ビジョンの作り方 | | ビジョンや目標はどのように掲げればよいのかを学ぶ | | |
| 研修プログラムの作り方 | | 人材を育成するために成果の上がるプログラムの作り方を学ぶ | 演習 | 2H |
| プレゼンテーションの仕方 | | ビジョンや研修プログラムなどを分りやすく、思いを含めて自分の言葉で伝える方法を学ぶ | | |
| 多施設間交流 | | 多施設間で交流することにより自施設の役割を理解し、地域連携の方法を見出せる | 他施設間交流2時間 | |

多職種連携

【課目】 地域連携の在り方の理解

【ねらい】 認知症の人が地域で暮らせるために、医療・福祉の各施設の役割を理解し、連携する方法を学び、考える

| 内容 | 具体的な習得目標 | 解説 | 形式 | 時間配分 |
|----------|--|--|----|------|
| 各施設の役割 | 認知症の人が地域で暮らせるために、医療・福祉の各施設の役割、地域連携の仕方、社会資源の活用方法を学び、考える | 地域の中で認知症の人が生活する為の各施設の役割と課題を理解する | 講義 | 1H |
| 地域連携の仕方 | | 地域の中で関係者が連携することで、認知症の人がよりよい生活が送れる方法を学ぶ | | |
| 地域連携の実際 | | 演習を通して、地域連携の実際を学ぶ | 演習 | 1H |
| 医療と福祉の連携 | | 医療と福祉の連携上の課題を理解し、より良い連携方法を学ぶ | | |